

第 9 回 地域保健福祉計画策定部会 意見の概要及び区の考え方

分類	意見の概要	区の考え方
計画案第1章～第3章	第2章の内容は、行政の取組みや区民の意見を捉えられる良い内容だが、前後の章のつながりがいないため、巻末資料で良いのではないか。	第3章以降の内容を伝えるにあたり、まず区の現状や地域福祉に対する区民アンケート等を踏まえる必要があると考え、巻末ではなく第2章として掲載しています。
計画案第1章～第3章	P41 基本理念イメージ図①のイラストは「多様な個性やライフスタイルを認め合う」＝外国人というイメージを持たせる可能性があるので、多様な人が描かれているイラストに変更した方がいいのではないか。	「多様な個性やライフスタイル」と聞いてイメージするものは、各個人によっても様々であり、イラストで表現することが難しい部分でもあります。なお、P41のイラストについては、特に外国人をイメージさせる意図では使用していないことを申し添えます。
計画案第4章～第7章	P47で示されている基本理念・基本方針実現に向けた施策・事業内容と、次頁で示す重層的支援体制整備事業とのつながりが不明確である。	P47の施策群を実施していくには、重層的支援体制を整備し様々な課題に対し組織・分野横断的に取り組むことが必要であるため、その旨を各施策を縦断する形で矢印を入れることで示し、P48以降の重層的支援体制整備に関する内容に繋げています。
計画案第4章～第7章	P54の「アウトリーチ」について、用語の説明が必要ではないか。	アウトリーチについては、第7章P174の用語説明に掲載していますが、大事な用語であるため、P54に「第7章参照」の旨を掲載します。
計画案第4章～第7章	P55の3つの柱や、P57の区職員の意識改革は、大事ではあるが資料上の流れを無視して突然表れるため、何を伝えたいのかわかりにくい。	まず、P54で包括的相談支援・参加支援について令和6年度からの体制を掲載した上で、P55では支援するために取り組むべきことを「3つの柱」として掲載しています。「3つの柱」の1つに「職員・相談員の育成」があるため、P57で「区職員の意識改革・醸成」を掲載しています。
計画案第4章～第7章	第5章 施策②-3 取組1の「災害時安否確認申出書」はどのようにして集めるのか。特に、独り暮らしの高齢者はその存在すら認識できないのではないか。	特に支援が必要な方（要介護3以上の方など）を「避難行動要支援者」と定義し、区で「避難行動要支援者名簿」に登録をしています。「避難行動要支援者名簿」登録者には、定期的に「災害時安否確認申出書」を区から郵送し、ご提出をお願いしています。今後も、個別避難計画の目的等についてわかりやすい周知等に努めていきます。

第9回 地域保健福祉計画策定部会 意見の概要及び区の考え方

分類	意見の概要	区の考え方
計画案第4章～第7章	第5章 施策②-7外国人支援の関連事業「小中学生を対象とした国際理解教育の実施」とは、どのようにするのか。	区立小中学校へ文化交流ボランティアおよびJICA等による臨時講師を派遣し、自国の文化や日本の国際貢献活動を紹介する取組を行っています。
計画案第4章～第7章	P176 ジェンダーの用語説明で「料理は女性がするもの」をより性的役割分業が伝わるよう、「家事や育児は女性がするもの」に変更した方がいいのではないかな。	いただいたご意見のとおり、「料理は女性がするもの」を「家事や育児は女性がするもの」に変更いたします。
計画概要版案、印刷・製本について	概要版の中面④ 案件に応じた関係機関等の「その他キーパーソン」だとキーパーソン＝個人とは誰なのかという疑問が湧くので「その他NPO団体等」にした方がよいのではないかな。	いただいたご意見のとおり、「その他キーパーソン」を「その他NPO団体等」に変更いたします。
計画策定部会の今後について、その他	今後、計画の中間見直しに向けて準備しなければならない事、考えなければならない事等を検討するためにも、何かしら動きが必要と感じる。	本計画策定後は、引き続き「地域保健福祉計画推進部会」として計画の推進や見直し等についてご審議いただく場としたいと考えています。
計画策定部会の今後について、その他	ヤングケアラー問題と支援策については、協議会など話し合う場はもちろん必要だが、具体的に何をしてその結果どこが改善するのかわからない。各家庭の事情もあるが、支援を必要としている子どもたちを発見し手を差し伸べられるようにご尽力いただきたい。	ヤングケアラー問題は、実態が外から見えにくいことに加え、ヤングケアラー本人だけでなく家族も支援を必要としているケースも多いため、気軽に相談できる相談体制の整備や、ヤングケアラーへの理解を深めることで周囲や地域が気づく視点をもてるよう、そのための周知・啓発も進めていきます。